

飼料添加物メチオニンの増強について

住友化学は、飼料添加物メチオニンの旺盛な需要に対応するため、このたび愛媛工場（愛媛県新居浜市）に、製造設備1系列を新たに増強することといたしました。増強規模は約40千ト/年で、当社のメチオニンの生産能力は、合計で約140千ト/年になります。増強設備は2010年第1四半期に操業を開始する予定で、これにより、当社は、メチオニンのアジアにおけるリーダーとしての地位を確固たるものといたします。

メチオニンは、動物の体内で合成することができない必須アミノ酸の一種で、鶏などの家禽用飼料に広く添加されています。トウモロコシや大豆かすを主原料とする鶏の飼料は、メチオニンの含量が不足していることが多いため、鶏肉や鶏卵の品質や生産性を向上させることを目的にメチオニンが使用されています。また、メチオニンを添加することにより、鶏の排泄物中の窒素含有量を低減させる効果もあります。

世界的な人口の増加、発展途上国や新興国の経済成長による食肉文化の広がり、健康を意識した鶏肉志向の高まり、家畜排泄物の管理や規制といった環境問題への対応、中長期的な飼料用穀物の不足や高騰に対する懸念など、さまざまな理由から、メチオニンの需要はここ数年拡大を続けており、現在全世界で約700千トといわれる市場は、今後も年率5%程度で増加していくものと見込まれています。

一方、メチオニンのメーカーが世界で数社に限られている中で、住友化学は、現在約100千ト/年の製造設備により供給を行っておりますが、昨今の旺盛な需要を背景に、顧客の要望に十分に対応できない状況が続いています。そのため、原料から製品までの一貫生産による高いコスト競争力や、需要が伸長するアジア地域に立地する優位性といった、当社が有する強みを生かして、このたび約40千ト/年の増強を実施することとしたものです。

住友化学は、ライフサイエンスを重点分野の一つとして、その強化・拡大を進めております。今回のメチオニン増強は、その一環と位置づけておりますが、当社は、メチオニンのグローバルサプライヤーとして、今後の需要の拡大に対応すべく事業規模のさらなる拡大と安定供給に努めるため、このたびの愛媛工場の増強に続き、現在、中国における生産を含め、さらなる増強を検討しております。

以上